

令和6年度下半期の財政状況を公表します

問 財政課(☎27-2712)

市条例に基づき、令和6年度下半期(令和6年10月から令和7年3月まで)の財政状況をお知らせします。

今回公表する財政状況は、令和7年3月31日現在のものです。令和6年度分の未収・未払い金を整理する出納整理期間(令和7年4月・5月)の歳入・歳出は含んでいませんので、令和6年度の決算状況とは異なります。令和6年度決算状況は、決算が議会に認定された後、本紙で公表します。

※金額は端数調整し、1万円未満の金額は四捨五入して表記しています

※詳しくは市HPを確認してください



▲市HP

市の予算には、一般会計、特別会計、公営企業会計があります

一般会計

皆さんの暮らしに身近な仕事を行うための、市の基本的な会計です。

特別会計

特定の事業を行う場合や、使い道が決まっている特定の収入(保険料など)によって運営している会計です。

公営企業会計

市が直接運営する事業で、民間企業に準じた経理を行っている会計です。

一般会計・特別会計

会計名		予算額	歳入			歳出		
			収入済額	うち下半期分	執行率	支出済額	うち下半期分	執行率
一般会計		979億1,779万円	874億9,632万円	497億7,217万円	89.4%	848億8,825万円	478億3,432万円	86.7%
特別会計	小型自動車競走事業費	260億8,236万円	247億5,476万円	125億1,716万円	94.9%	240億1,372万円	129億3,514万円	92.1%
	学校給食センター事業費	30億175万円	24億9,178万円	15億1,732万円	83.0%	23億7,036万円	14億1,253万円	79.0%
	国民健康保険	196億8,386万円	177億2,591万円	98億5,626万円	90.1%	172億9,897万円	102億3,798万円	87.9%
	後期高齢者医療	31億2,888万円	31億1,162万円	20億1,894万円	99.4%	28億2,670万円	19億4,647万円	90.3%
	介護保険	185億4,133万円	182億268万円	94億8,586万円	98.2%	164億5,674万円	90億2,161万円	88.8%

公営企業会計

会計名	勘定区分	収入予算額	収入済額	うち下半期分	執行率	支出予算額	支出済額	うち下半期分	執行率
水道事業	収益的収入および支出	46億7,746万円	46億9,582万円	24億5,024万円	100.4%	39億9,348万円	36億7,590万円	16億2,681万円	92.0%
	資本的収入および支出	14億8,201万円	15億8,294万円	15億8,099万円	106.8%	40億2,038万円	37億7,195万円	7億2,548万円	93.8%
公共下水道事業	収益的収入および支出	28億8,874万円	26億9,876万円	8億1,778万円	93.4%	28億5,206万円	26億1,457万円	11億9,199万円	91.7%
	資本的収入および支出	19億9,180万円	18億9,229万円	12億3,360万円	95.0%	30億6,637万円	26億880万円	7億7,701万円	85.1%
農業集落排水事業	収益的収入および支出	4億320万円	4億644万円	9,685万円	100.8%	3億8,577万円	3億4,045万円	1億5,477万円	88.3%
	資本的収入および支出	2億1,479万円	2億72万円	1億1,787万円	93.4%	2億8,584万円	2億8,195万円	1億3,409万円	98.6%
特定地域生活排水処理事業	収益的収入および支出	1,495万円	1,474万円	381万円	98.6%	1,344万円	1,080万円	408万円	80.4%
	資本的収入および支出	1,362万円	848万円	632万円	62.3%	1,583万円	1,119万円	565万円	70.7%
病院事業	収益的収入および支出	185億9,913万円	169億9,367万円	87億4,192万円	91.4%	195億3,034万円	184億5,600万円	108億594万円	94.5%
	資本的収入および支出	6億8,134万円	6億8,134万円	3億4,067万円	100.0%	14億9,269万円	14億2,799万円	8億4,665万円	95.7%

※収益的収入および支出＝企業の経営活動に伴い発生する収支

※資本的収入および支出＝企業の将来の経営活動に備えて行う建設・整備などに伴い発生する収支

活用しよう

生活機能セルフチェック!

～住み慣れた地域でいつまでも生き生きと生活するために～

問 地域包括支援センター(☎27-2745)

市では、65歳以上で介護認定を受けていない人を対象に、生活機能セルフチェックを実施しています。住み慣れた地域でいつまでも生き生きと自立した生活を送るために、元気なうちから介護予防に取り組むことが大切です。生活機能セルフチェックを活用して、いつまでも生き生きと自立した生活を送りましょう。

令和7年度の生活機能セルフチェックを6月に実施します

令和7年度の生活機能セルフチェックを6月に実施します。対象者には調査票を郵送します。同封の返信用封筒で返送または同封チラシの二次元コードから回答してください。

この結果を基に、市内9つの高齢者相談センターと連携して介護予防に関する取り組みを進めます。回答への協力をお願いします。

対 市内に在住で介護認定を受けていない65歳以上の人

発送日 6月16日(月)

返信期限 7月18日(金)

生活機能セルフチェックとは

自身の健康状態や生活機能、心身の変化を知り、生活習慣を見直すための25項目の質問票です。



令和6年度生活機能セルフチェック結果

令和6年度に実施した生活機能セルフチェックでは、4万3,439人に調査票を送付し、2万4,516人から回答が寄せられ、回答者のうち、約4分の1の人に、今後何らかの介護が必要となる可能性が高いという結果が出ました。回答結果の中から、機能低下の割合が高かった項目と、予防のポイントを紹介します。

●運動機能が低下している人 52.2%

運動機能の低下は、転倒や骨折につながります。活動的な生活を心がけ、安全で簡単な運動から始めてみましょう。

●認知機能が低下している人 47.3%

脳の健康を維持するためには、規則正しい生活を送ることや、積極的に社会参加し、人と関わりを持つことが重要です。

●口腔機能が低下している人 64.0%

毎食後の歯磨きはもちろんですが、自分に合った歯ブラシを探すことも必要です。磨く部分が小さく、毛が柔らかいもののがお薦めです。

●うつ傾向のある人 44.5%

趣味を楽しんだり、地域の活動に参加したりして、毎日を刺激的に過ごしましょう。チャレンジする気持ちや前向きな気持ちを持つことが重要です。